

サンゴの名前(和名)

学名(群体の形)科名(ハナサソギ目)科名(ハナサソギ目)
目以外の属、亜属を付記
サンゴの大まかな特徴
(図:石守守、日本のサンゴ礁、環境省)



ヘラジカハナヤサイサンゴ

Pocillopora eydouxi (枝状) ハナヤサイサンゴ科
ポリプが点在する小さなぶが全面を覆う。



オヤユビミドリイシ

Acropora gemmifera (枝状) ミドリイシ科
太く短い円錐形の枝を伸ばし、先端のポリプが目立つ。



コブハマサンゴ

Porites lutea (塊状) ハマサンゴ科
小さなポリプからなるが、直径数メートルと巨大な群体に成長する。



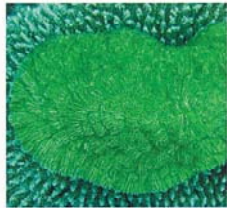
ヤスリアミメサンゴ

Psammosora digitata (塊状) ヤスリサンゴ科
被覆状から塊状、または柱状に成長し、表面はざらざらした印象を与える。



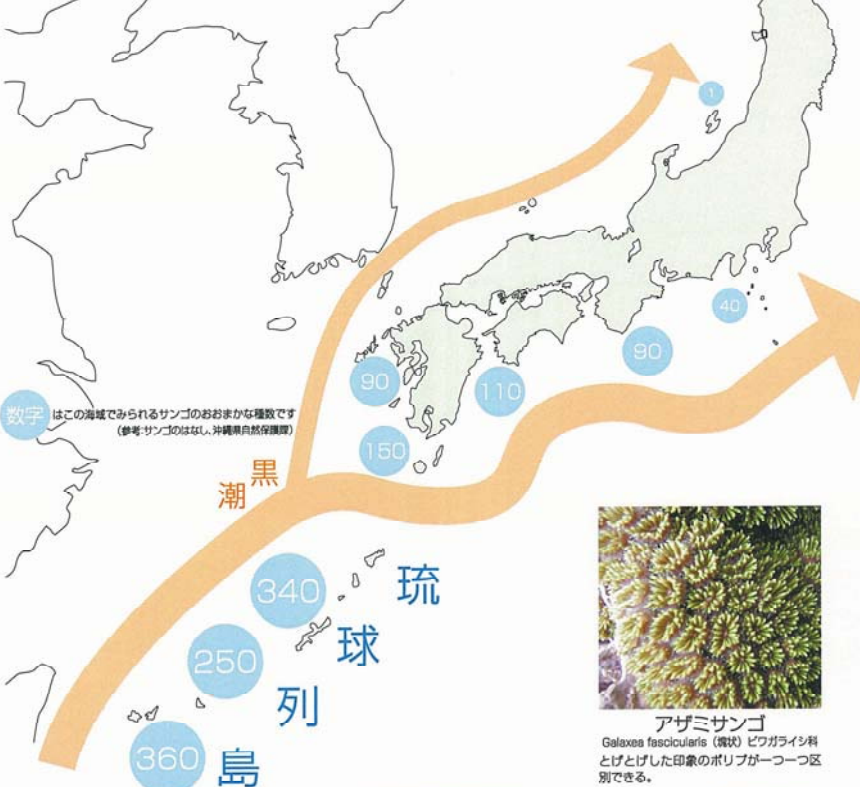
コモシコロサンゴ

Pavona clavus (塊状) ヒラフキサンゴ科
滑らかな表面をした塊状または柱状の群体で、直径十メートル近くまで成長する。



ヘルメットイシ

Sandalloloha robusta (非固着) クサビライシ科
固着する種類の多いサンゴの中で、非固着な種類はクサビライシ類に多い。



琉球列島は

世界的にみて、琉球列島を含む日本は造礁サンゴが分布する北限に位置しています。これは、暖流である黒潮が列島近くを流れているため水温が比較的高いことによるといわれています。南北に長く連なる大小の島々が様々な環境を提供していることもあり、実に多くの種類のサンゴが分布しています。

サンゴの宝庫です

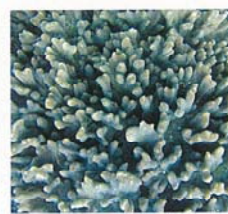
◆グレートバリアリーフに匹敵

造礁サンゴは世界の熱帯の海からおよそ800種が知られています。琉球列島のサンゴ礁には、日本にいるサンゴ約400種のうち、約380種が生息しており、世界最大規模を誇るサンゴ礁、オーストラリアのグレートバリアリーフに匹敵するといわれています。琉球列島以北では、四国や伊豆半島、果ては房総半島などにもサンゴが分布しています。しかし、九州以北では、琉球列島と異なりサンゴ礁は形成されないとされています。ここでは沖縄でみられる造礁サンゴの全ての科から一種ずつを紹介しています。このうちミドリイシやハナヤサイサンゴの仲間は、世界でも最もひろくたくさんみられる、サンゴ礁を代表する種類です。



アザミサンゴ

Galaxea fascicularis (塊状) ビワガイイシ科
とげとげした印象のポリプが一つ一つ区別できる。



レースウミバラ

Pectinia paeonia (塊状) ウミバラ科
花びらのような形が特徴的な、名前のごとく繊細なサンゴ。



オオハナガタサンゴ

Lobophyllia hemprichii (塊状) オトグサンゴ科
大きな目立つ口が特徴的で、その一つ一つは時に数十センチメートルの長さまで伸びる。



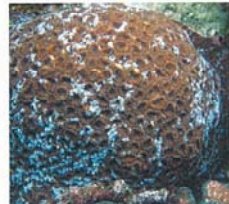
エダイボサンゴ

Hydnophora rigida (枝状) サザナミサンゴ科
枝状の群体の表面を小さく特徴的なイボイボが覆う。



サザナミサンゴ

Merulina ampliata (塊状) サザナミサンゴ科
表面を覆うさざ波が打つような縁が特徴的。



ウスチャキクメイシ

Favia pallida (塊状) キクメイシ科
大きめの口がまだらな褐色に色づき、様々な環境にひろく分布する。



ハナサンゴ

Euphyllia glabrescens (塊状) チョウジイシ科
先が白く少しふくれた長く太い触手に、群体全体が覆われている。



スリバチサンゴ

Turbinaria mesenterina (塊状) キクメイシ科
名前のごとくすり鉢状に成長し、その表面に円形のポリプ一つ一つがちらばっている。



アオサンゴ

Helipora coerulea (塊状) アオサンゴ科(リウサンゴ目)
骨格は鮮やかな青色だが、生きて群体はサンゴ自体の色で褐色に覆われる。



イタアナサンゴモドキ

Millepora platyphylla (塊状) アナサンゴ目(イタアナサンゴ科)
滑らかで黄色い表面が特徴的で、触れるとひどくかぶれとても危険。



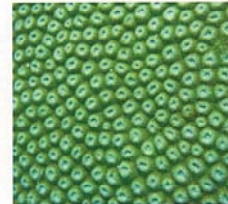
トゲサンゴ

Soriatopora hystrix (枝状) ハナヤサイサンゴ科
枝は細く先が尖り、色も淡く繊細で、縦に並ぶ小さなポリプが特徴的。



チヂミウスコモンサンゴ

Montipora sequibuberuata (塊状) ミドリイシ科
葉状に成長し重なり合う群体は、薄く美しい。



ダイオウサンゴ

Diplanastrea heliocara (塊状) キクメイシ科
全体に緑色が滑らかな印象を与え、ポリプ一つ一つは細く丸い竹筒のように美しい。

これらの他、大きな不明確にひろがる口が特徴のヒュウサンゴ科ヒュウサンゴ *Trachyporina geoffroyi* (塊状)、群体がほとんど十センチメートル以上成長することがないムカンサンゴ科のヒメカシサンゴ *Stylocoenelia armata* (被覆状) など、そして赤い骨格が目立つクダサンゴ科(リウサンゴ目) *クダサンゴ* *Tubipora musica* (塊状) が分布しています。